

「島立の教育」から学んだ「宿泊研修」

5月14日～16日の2泊3日の日程で、伊江島にて県内宿泊研修を行いました。

1日目伊江島を訪れ、伊江村教育委員会での研修と特色ある伊江村教育活動について主事から説明を受けました。その後、伊江村観光協会の特色的な取組である「民家・民泊体験」を行い、修学旅行団の入村式の見学を行いました。

2日目は、西幼稚園、西小学校、伊江中学校の施設見学や保育・授業の様子を参観させていただきました。その後、反戦平和資料館長謝花悦子氏から平和教育について説明を受けました。

最終日は、伊江島を後にして、本島に戻り、沖縄宇宙通信 JAXA、沖縄高等特別支援学校の施設見学を行いました。下記は参加した教育研究員のみなさんの感想です。

教育委員会を中心に、「15歳の自立」に向け、学校、家庭、行政が一体となる協力体制作りをしており、小さい頃から、地域の人に教えてもらいながら、村の歌や踊りを教え伝承していく取り組みに感動しました。

伊江村観光組合の会長さんの民泊の話では、「お客様という気持ちではなく家族と思いながら、かかわっている。」という、言葉が残りました。誰にとっても、安心して過ごせる居場所作り、何でも話せる雰囲気作りは大切だと再確認できました。伊江島の方々は、それをとても感じ大切にしていると思いました。(金城)



幼稚園の見学では、2園(伊江、西)の子ども達がフロアリズムに取り組んでいる様子から発達に合わせた運動プログラムで、運動が得意・不得意関係なくみんなが取り組めるようになっており、使用する道具や場の設定は、とても重要なんだと改めて感じた。

小中学校では、掲示物が充実していた。15才で島を離れて生活するため、キャリア教育や進路を意識した「島立ち教育」の取り組みを大切にしており、小学校のキャッチフレーズにある「沖縄一美しい城山、日本一美しい学校、世界一美しい心の子どもたち」を目指して、家庭・地域・行政が協力して取り組んでいるのだと強く感じる事ができた。(仲門)

西小学校訪問の中で、佐次田校長先生は、子どもの学力は、どこが低いのか分析をして伸ばすことや、どこがわからないのか、わからないことが説明できる子にすることが大切だとお話ししてくれました。中学校の島立ちの教育の話では、波照間の子供達と状況が同じなので教え子の事を思い出しながら話を聞くことができました。平和教育では、無関心ではなく、知ることが力になるとお話ししていたので、今の日本や世界の様子について関心を持とうと思いました。(下地)

JAXA では遠い宇宙のことが、身近に感じられました。人工衛星の地上局が沖縄にあることや宇宙ステーションが肉眼で夜空の星を同じように見られることを子ども達に知らせたら、夢を持って宇宙のことを調べたり考えたりすることと思います。説明して下さった金城さんのお話をずっと楽しく聞いていました。展示物も興味深く、夏休みの自由研究にもいいなと思いました。今回の見学のことをぜひ子ども達にも話し、授業にも活用したいと思います。(上原)

高等特別支援学校の訪問では授業の様子や、寄宿舎の中(部屋・風呂場・洗濯場等)を見学することができ有意義でした。先生方が生徒一人一人の特性に合わせ、就労に向けてきめ細かい指導をしていることに感動しました。社会で自立していくために生活面の指導が不可欠なこと、特別支援学校にしかない「男女交際」の指導の実際を聞くこともでき参考になりました。

私も、一人ひとりを大切に、将来を見据えた指導を心がけたいと思いました。(横田)

6月の予定

- 4日(水) 所内検討会②(理論)
- 6日(金) 所内研修②
初代所長講話
- 9日(月) 所長講話 幼稚園①
- 16日(月) しののめ協力者会議①
- 17日(火) 指導講師検討会③
～19日
- 23日(月) 慰霊の日
- 24日(火) 記念事業実行委員会③
- 25日(水) 幼稚園臨任研修会②